

緊 急 要 望 書

立憲民主党

代表 枝野幸男 殿

今冬は昨年末から年末年始を挟み災害級の降雪に見舞われ、青森県内各自治体においてコロナ禍のもと、住民生活の確保と地域経済の停滞回避のため昼夜を問わず除排雪作業を行ってきました。

一例を示すと、青森市は人口 27 万都市としては世界に名だたる豪雪都市であり、毎年数十億円除排雪経費を要しております。これは雪により地域経済が停滞することで起こり得る損失の回避と、地域住民の命を守る為の必要最低限の経費であり、先の第一回青森市議会臨時会では 1 億 8 千万円余の補正予算を可決し、年間除排雪予算は過去最大の 4 億 3 千万円余を確保したところであります。青森市同様、県内各自治体においても臨時議会等を開催し、専決処分や補正予算を組んで対応していますが、今月 15 日には暴風雪により新たに被害も拡大し、豪雪地帯においては財政的にも大変厳しい状況が続いています。

つきましては、現状に鑑み、地域住民の生活確保と地域経済の停滞回避のため、政府に対し下記の要望事項について引き続き要請して頂きます様強く要望致します。

記

1. 特別交付税について、一部繰り上げ交付が決定されたものの、毎年発生する大雪被害において地方財政がひっ迫しております。地域格差が生じないよう豪雪地帯への更なる財政支援の拡充をお願い致します。
2. 社会資本整備総合交付金並びに道路除雪費に対し、既に地域では除雪費が枯渇していることから、臨時特例の措置等による支援（第 3 段階）について、迅速に検討し支援をして頂くようお願い致します。
3. 青森県内は積雪により未だ農業被害の全容が判明していない状況であり、果樹は融雪時に枝折れ等の被害が発生する事から、被害が拡大した際には適切な支援を講じて頂きたい。また雪害防止に対する事前の対策についても支援の対象となるよう検討して頂きたい。

以上

令和 3 年 2 月 2 日

立憲民主党青森県総支部連合会

共同代表 山内 崇